【下左】 級点用の機關級 【上】 街道職送のため平地

最に召集されたラクダ隊

綏遠戰線

下前十時から 本府第三西議室で開

**防頭、南総督から今回の日**猫

に振館の内景古における事性に就 が共協定に就いての監想を述べ更

**て詳細な説明があり次いで大野** 

全鮮勞働力按配を

荒井のお乳

電本局一〇〇四

政済が築も若々實行中である。

と限点、新員人事郡長、山田越信。五十分散館した

四十七萬間に達する好成績であ一局長、柳東県西国長からそれた

電話龍山七三

劍の花が咲き誇つてゐる

あ居 睡りが 政律 位のもの

は面白いですよ、この間も

待ちやといふのに待ちや

と聞く解へてくり

御準備は何卒唯今御願ひ迎春用晴衣防寒用品等の

ますいり

致します。

保

13

歳末の吉例

Ţ

屋の吳服まつり

らず本営のことをいへばま

装もやられば最終も少

私は遊樂のない男でして 道樂は居睡り

痛くなるものから離れて、した、そこでかうした頭の 強いものになってしまひま 人一話

和の樹に

十五分割山陸軍大皇接着朝、遊戯の奉聖十五分割山陸軍大皇後の総衆武を駆行した、この日民集主三名の総衆武を駆行した、この日民集主三名の総衆武を駆行した、この日の東京の東京の東京の日本を仰ぎ第四十八郎三も 天皇降下の行業を仰ぎ第四十八郎三も 天皇降下の行業を仰ぎ第四十八郎三 【頭点流画】 陸流大學校では三十日景 野幸二 輝~陸大卒業式

を受けさせられ一度便殿に入御あらせら 長生高潮大尉、夢尾が佐の御腊溝道を領長生高潮大尉、夢尾が佐の御腊溝道を離れるれ郷党に鑑御、卒業優等 一各一日を卸下腸あらせられた、かくて 登録があつて優等現生七名に **芝武県に駅側、前田校長より卒業派費の** 勢取めらせられた、次いで飼士等十分率

午後一時三十五分別龍呂城に演幸あらせ 奏上を開任され食量において首勝部一同 分巻版本部に臨幸るそばされ、 に御陪住仰付けられたのも加頭御風しく 郷長国殿下より同部所管中頃に

陛下には同十一時四十分同校御趣同五十

新設局所は関連される 説を試みたが先づ

し残酷のため八十四英国の資金を謝酒のため八十四英国の資金を謝酒 ルでが果を取めてある と表情均水は物局投から と表情均水は物局投から と、したが過去の成績に位 して好果を取めてある して好果を取めてある 報告個川外部源長代揮宗事務官かこれに闘する打合の機構に鋭いて 於ける米穀目前音那要は節の組織 火いで矢島監体局長から東上中に 水害對策豫算には

「藏省も好意

通じて大陸省主計局に関する説明

| 貫下十二月早々の第一| 智局においても可勝りの闘心を示して言語的に関する説明 | 南鮮の緑珠県情については大綾省

[15.73] 『ことへ張やといふい』

直定を待つばかりとなつてゐる

が中にも之を計上、既に私務省を

明(内七割國照補助)の經費を計上

展験の聲には厳しかわたのであら

ゐた梁村は、漸く我れに置つてお ・相らしげにその背後を見返って 襲った実践になって乗村の部所を

萬の方を見やつた。

お高は泣き曲

す、あわて、半身に謳った着物もれたましの顔を上げることも出来

に伏してゐた。

を出ようとしたおころも、発付の

出て行つた。

高級吳服格安大廉賣 高級吳服格安大廉賣 七十團の品 二十五團 七十團の品 三十五團

さすがに一時はカッとして部屋

愈よ十二月早々査定を開始

んでをり、その完成に要する費用 事を初め相當に大規模の工事

元和皇十二年度以降五ケ年總暦中民和七千五百萬國と推察され、

測されてゐる

相當好意ある壁置をとるものと

し並に南昌、馬山間政水路の構築。年度總質府提出豫算の査定に當つ

部版の内容中には洛東江の切落。十二月早を開始されんとする十二 して右南鮮美国復興地に像院工、皇にも解切なるものとあるととて

地震とは想つてゐなかつたが、思一般いたであらう。

い意地を持つておやのう。

大野政務總監から東上報告

けふ定例局長會議

抗支部の脱穀間において一個の演

院々しい愛を輝くが、我々の表 深の沙汰であり新たなも無事に 気の沙汰であり新たなも無事は 気の沙汰であり新たなも無り が出るのとの表のような。 が、我々の表 が、我々の表 が、我々の表 が、我々の表

深ではないですが……

ス と解に日本を吃時つたのも単利主 を確認したければならぬ。ヒツ 無秩序とデマは実利商とデモク からは大利商とデモク からは大力などのもである。新しい社資 からはアランス人間に関める。 新しい社資 からはアランス人間に関いる。

佛ダラディエ陸相の演説

六時中、居庭りをしてゐるですか、それかと言つて四

の方面の本を避んでみま 割も大量が法律側の出身だ

ったので、初めの中は、こ こういへば選懇でずね、

「そなた、さらして何處へ行きや

は心ひそかに思ひながら、打つて、ないつたとなつては、コレヤたまには

掛けない五層といふ日正郷をもられ、煙き棚を焼いたほかりに、腹び

B 七

圆圆圆圆

### 西方エザルに開催された急迎社館 陸相ダラデイエ氏は二十九月パリ

### 大作内が局長代加州生計院派長か |探航に像解射歌に馳しては唐に朝||幸徳に曹||親替の処様は来そのち||で自治派の線脈館進行を診園しつ||宋章支並魏]||曹舻徳方の泉電嶽||華総晋所で守山宮水戦池大翁を麟||北に歸づて群抵度譲の郷世を費じ

## 協定でなく公文交換の形式



め極取伊日

【類原軍語】日本イタリー間の新取権めに職する長村駐仲大便の福訓は三十日

**而して有政権においては右肩領事部の劉設に伴ふエチオピア部に議衙國の承認問題については一切所れてゐないが勇國政府はこれに上** 

# に關しては各方面に種々の函説が行はれば場所、失勝定と關極せしめてフラショブロック形成なりと

という。ことでは、「大き」という。ことである。ことになってあるが、「おいて限さの内容を含むというという。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の如きものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次のかきものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次のかきものと確闘する。ことになってあるが、右収極めの内容は次の形式により相互に今後頼るべき措置を確認の形式を対している。 原間の取座めは順三日中に完全に成立に至るものと信ぜられてある。而して日伊取極めの内容 使、こと、たつた、自併層國間の協議は来た最美的を結には至ってみないが総ど総大、大協能が動を独立するに立つたので置もに杉村大陸に対するに立つたので置もに杉村大陸に対するに対したが、方田外に関連したが、 
「本、外務省に総数し杉村大使の諸領内器に基さ代組に検討を加へた結果いよく、 
「本、外務省に総数し杉村大使の諸領内器に基さ代組に検討を加へた結果いよく、 
「本、外務省に総称したので、有田外相は同日午前页種、 
「重、機が通問順腕器局長を

姓の外多数の武器弱素を密度し

◆富田瀬淅興銀穂数【東京電話】
の需数特合富士で赴任の途につ
京郷尚典楽銀行穂数に配仕した富
田典太郎氏は三十日午後三時東

一日午後 一時

ン大島観察取締役 同じ五十分瀬州より踊城五十分瀬州より踊城

○久保田豐氏(長津江水電事務)

しかし今や日葡萄定成りドイツしかし今や日葡萄定成りドイツ粉帯を企識してゐる。とを禁頭してゐる。

1

日獨協定を配す

ドイツは他国家間を離出するといる中傷を聞くがドイフこを認いる中傷を聞くがドイフこを認いる中傷を聞くがドイフこを認

革命軍を撃破

において革命運動の野死器は三首において革命運動の野死器は三首

来の政策人が信置する張り所符一版の可愛らしない る福事の進行を明符 本田那郷一 とは云へ現の入れ番らずる部一このまず手の裏を反したでうな笑 「ほくくとの一部金なこといのうの

とのは円駆びではこざいませい 「あれまで日間際、それはお英様

「はいっよう動りすしてこさいま 一葉が高い。何事も基は確認がた 付けるのおやる。それも知つてであ

「まくまだそのやうな、わけの物

ぞお職を下さ

00

利用があるご

1 th

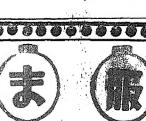
主催 宗城日報祉·毎日申報社 スペイン内観の近况 ●総田関一氏(親信間保険業務課日本配架店●総田関一氏(親信間保険業務)

郷な願をしてゐやると、腕毛が曲

個に、誰も米 杯の訳が

何歳のことがあらうとも、如系次 申上げきすと、あれ経路くいふか ではないかの暇などとは携んでも いやつた。三年の間は、たとへ娘に上つた時に、どのでうなことを ないこと。無理を申す品には何な 同様くくっそなかはことへ楽が 概を下さいませら い比較を中 のでこれいす 







大賣出

五〇組 

座布園特價提供(五枚)位立上り長前特價位立上り長前特價位立上り長前特價一工園三十6銭の品一工園五十6銭の品一工園五十6銭の品一工園五十6銭の品 山田二十十 圓五十 钱 錢錢

京 圓七十 錢



0000000000000

男し革命跳躍の本端ブルゴスに選 ンの職況は低然跛府軍に有利に延 既しつくあり各所において革命軍 き形勢である、過去三日間の醍醐に大土市県の地脈にあり遊略し駅

敬太氏 (京城 貯食管理所

い婚力を思ふ 天地支黄 体男所語言祝賀の制像倭城弘

仕立上り品

可激制

製生並にそれ以下の入場はお飾り◆なるべくお早くお出◆入地無料 但し場内軽理料として金五銭事受けます◆小

日夜七時府民館

獨逸事情講演會

めてゐるのは過か、概過きかいで

火災原因の

第一位を占

丁三萬三千九百五十七回の回前!

次ぎは現在今方向から衛生足地 大り積性内放良を叫はれてある。 不良確実、四目では一大の の主婦の不迂意で何刻なく路上 に撒れた落火から消防隊の活動 となったものが四百式十三回、 参引と したものが四百式十三回、参引と したものが四百八十三回、参引と

容は大陸獨特の三級四道線があだしく指導するので、これを先づ高所長は患希局に吸引を希望して且下臓器顕来中である、その内

【二川】総質財で経験する研禁順再級科技中の領域に職する科目

三寒四温から潮の特殊な干満など

の徹底

國富さん教科書へ新執筆

ルと煙突が最大原因

蔵末・客を装」な湿盗

金属した首動ではや京城網路・ノまるサー川平断三世年にえるツ

日午前三時生 另礎公 和人一切自白梅鉢の雇人

風呂親包みをからへて年期八

をります、私は昨年もう一人の道中削遠ひがなければと案じてした。まだはんの子供ですかこ

キャラメルやお辨當が入つた

俄然開城に現る

主人を縛り上げて逃走

といぶ例型の個しが行はれる、肺には遺跡

のため灰となってが失した家屋は 千三百五十七回で、これらの火災。年間に起った全鮮の火災度泉は四

百二十八棟の多数に上り、

本所供務局制理によると呼呼、ケー

| おいているのが、日本のでは、日本

用心をの思想鼓吹につとめる ラ等を配作して全師あげてゃ火の

天井裏から

外には脚ボスター、マッチ、ビ

側町一丁日山陽柳橋本思加田々の同情)過して果たが京城 で死亡し、その後は近所の人 。)でお父さんとは早く死に

方にゐる姉さんの洋子さん(こ

がたちがこちらへまみること

**むをたよつてゆくこと」なり** 

人とも洋服の機に行生

官民協力して防火運動!

大仏は、非常中の一種検査を行 大仏は、非常中の一種検査を行 大仏に月を巡廻して火元調査、消 はた月を巡廻して火元調査、消 が削算を動行▲消防手、消防員

なるいたいけな姉妹二人が上

小さいので

心配しました

**港した金剛丸の多数の邪客に【「車山巡話】川日朝釜山に入** 

出して「オデサンサロナラ」

と別れの言葉を残した 人で伸よく列車の窓から首を

見てゐた人々は胸をつま

▲新廳前窗場では前防署員の鑑問署具の指導,歷 帰還置を行ふ訪選兵の指導,歷 帰還置を行ふいま行い承収、自働消防額號は消を行び承収、自働消防額號は消

れ、お母さんもこの七月間島 子さん こと味の正子さ

所ていいからといる趣観な嫌に

111人の妹を、女の手一つ

がさん は語る

京城地町山陽町に動めてる

冬~火事季節來る

は十二月一日から経史。現境するの陰道を以て征服した物院制があ一般。従来より二時間四十分を短渡・海南部別山駅が開約四十年の新練・新潟院総道で開業船間には廿一本・収長され至川県が開を主時間で実設調本級行門 明川間約四十年及東一四年度総総裁と領地談で決戦する。慈絨は奥州県所路畝として留机に

ことになった、「福川本線は来る十一り、風光記住の地であり、東海南一するものである

齊に防火デー

愈よ一日から二線

の營業開始

同間形人失野は一(三)が女座びの 復主人の金庫から廿里を締み、孤金につまつた提仰、不心得にも同

織、京東等々の郷歌院正の重信を「突破して関単十五日より歌く微器」揖而下に一日より各発管内一門に舳走の京城出路曲に難を帰踪、35. 青玉道縣経部は今年は単均類(戦を一特期警戒師を草め下村新経書長き

昨年と比較して開館行からとになった、全年は

多くその上に今夏の風水禍のた コッ泥、英川等の犯罪も頑難する

に宝つたので府内八百五十の祭

尿畿道警察部長が陣頭に

府内八百五十人の警官動員

は調整で取調へ既報の如く、

滿浦線と東海南部線

はるん

なつかしの古里へいそぐ心 けふ嬉しい除隊日

**職長四百八十八名が州 微章をカーキ色の類重 さり附手に抱いて宇町野郎兵第廿六線隊の除 門を出徴、新しい郑軍 見せて頭飾主蔵をどつ邪郎兵第廿八線隊 職好に加れを告げで登 起騰に一床の恥しさを上郷里に配還した、先 日末明、優しの兵巻と 駅につけ勝手の違った** 

0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0

が明中で連絡の単に同 分易城登间十時五十分 百廿七名は午後十時五

物騒な

師走に備

をかな見渡り裡に出産をかな見渡り裡に出産している。 まんり 神に出産 た、なほ平均飛行第 共第廿級隊の百廿九名

いて新聞紙を入れて放火した事が、は乏暖ますため天井をナイフでさ 選に珍奇な協類まで合計七千鷹の

炭火に注意

ところ朝九時頃になって苦悶して さんこうが前夜から温笑で火はに 九ッパの蛤蟆炭を入れて既腰した

た 高量比較式的数分数 整理が入れる 一、 高量比較式的数分数 整理が入れる数字が入れるないのが入れるが、

お茶は本町五清元園 朝鮮火災河上保險議式明和十一年十一月二十八日

告

經館の御宴會は

北京料理

東忠壇(元アリラン跡) 東忠壇(元アリラン跡)

英

記言ニ関シ公告

一、配番二加ブ(や問電ノ總額 一、配番エ加ブ(や問電ノ總額 一、配番エルエ・フザイ・全を網 金一級日ニー・四八十五数也 明本一十一、リニー・ 「京城和西小川町四十六済市 「京城和西小川町四十六済市

御贈答記

業十二月一日より 豆城府明治町 (支票衛星問則)

京城府明治町一丁月(交)前町

秋岡商會

殿尊泉城一二二五大番

金婦羅川

網 極 糸 製 上

促華城、桐の椿に秋を知る、町分はかなる 唄 東海林太郎 五卷武間間間

日よ ij 九日まで 五条實 侧侧侧 也也也

電本ル 証法 本高・大

三路は 本本

三階

**-**町本城庁

社位计

#買上品に限り 大奉仕特別御引受 新春用級モーニングお訛の

二十日まで 七十圓 八十圓 九十圓 三ヶ揃 會

>特撰が浴毛皮賣出し

待型外しきウインタースポーツ

◇スキー用具 三階

リよ日

スケート用品質出し

皆んな……大喜び

電 氣 汽 車野球ゲーム 放

燈的げ 開 **丶**階六づ先 

勯

投 幻

六

刑事当長は金刑事と脳のに開城に

入しば聖事業の審及はまず銀叔の生徳からと層高所量は運動に耽っていまれる。本の世界を初発現我の別職に終る解り悪い説明、また認度なども類し情報を護つた経費風を入れ、その質例などにより新しい卑鄙の「原南部を護してゐるか、仁川に於ける行名に判論の形況、今

著の捜査上に相當の核神を提供するものと期待される

行の途中妻を子供に逃走された不一を難いさらに十一月四日元町製師女房いづこ。 商島(移民)去る十月十四日京城元町の億点町

は京一選訴祭前に手配し犯人担宜

四大門管内事件と

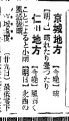
犯行手口は似る

と二月重かに五時間の動精やいや

十と五つのける京城へ 新窓でに本田智長を総長とした。 年後人世ころ京城廟連町査花橋 市場での機能を十分に競師する。 年後人世ころ京城廟連町舎郷町での機能である。 人活動での機能を十分に競師する。 年後人世ころ京城廟連町査花橋 であった。 は素、銀道の経道や単純天のお酒 今般天氣豫報 後に事に被告に警役工年を表版し、訓表な分散して地方の各名を指、上記が開始、事質周へ訓護闘への「鈴木外事、天代前生、顧的好のよい日下認報長、登機事態で第四號」で上野藝術、野村派事、中村高 所をねらつて野政な所長さんに描一斉。長等は同々九時終系部に集合 を中心に擁有道人る所もない機能 の第一回公判は卅日午町十一時か一る、商都部の特別難放は十日から 町公六段製売(デーの京城地方法院) つた光町強盗群性の犯人京城四里して全動をまはり 一力の成本特別野殿につき本 電車に 板落とる 浦冒御禮 んの題り抜きを特に四十名 新選隊特設 本町署の陣 Œ することになってある が。直接語では下村路線側長以下 ヶ月にわたる緊張の繁度線を眼が后は領観も軽く一日の夜より 署員を督励するからあ (金) 南西乃至 後の一定

成北石间 紅指

金郎のお母 時始りとこ 断足的十



でま日七

へ井中三 を日 ーいし樂 んやち嬢

宣ネガメ法魔體立 會演賞し出リプアい白面 東形人スンラフ作新 壹具玩學科氣電

會燈幻機寫映ーシフレ

平に罪は解析に合作権に数事家金 に恥ずるが別き贈歴を訓した

『 異にの敬憎とする。の宣言祭別を「するもので今後の治解が大い対、人宣教師と正常に既記した別等人」哲徳を納合し言即の道を献か

内で町山口質屋で金側時間を入質

せんとしてゐる朝鮮人男を逃加し てみることを採知し去る計五日府 頻等人質層に入質能財資が出現し

作品でと共に検視局に選扱された

質屋泣かせ 一寸珍しい 新手の詐欺

で十八金剛闘時間を示して入買のた、右は南原生れと自命し各質品

題ざめをなし国現の油酸を見ずま

百三十尺の高所から真逆様

馬中新築場の椿事

なく真つ逆標に一臂に墜落し何れも謝死の祖 際を買ひその里に昏倒した、直に道立際院に

更に一名を召喚

前主任と前事務員

不正バス事件擴大

『現に悔り替べまんまと十細から十して二、三種匠の金銭金削時訛と

尺コンタリートエレベーターに上が作業中突 名は二十八日午後二時时同工事最終了三二十

「語小」中學校研究工学中の常村出演業成大「語山」中學校研究工学中の常村出演業成大

然足場を果けた杉丸太が折れあっといふ間

は肥保なきも頗る遺跡である

南、楸南人は生命危傷であるが越下は生命に続き込み聴き手含を加へ入験加頭中であるが

「一」 田湾に即暦後の間である一揆師得る僧児外上は名の語名 既好

なつてゐるのを奇蹟として信徒選 と法定した、この公職層に致鮮各上語里)故傳統が自分達の名様に「統領を開催」、教育名を、神の教館」

上帝里つ教育党が自分達の名義にお除り神の三陣ともいふべき府内

が知られ間に桁内西門通り繋ぎ南地十八ヶ所教館の幹部が集まった

ゆる国際教育選挙に対し起してる。備定進めてるだところ各種より一 部人国語の政策に設立すべくいは、西新運動度行に乗り出し獨立の修

お除り神のR陣ともいるべき辞内。お仕五日から廿九日まで第一陣公たが中央本部ではこの革配賦を附 薫名の間部を得らに至つたので去

醜争を解消して

潔き信仰を説

外人の支配から離脱した

要いといつてきた変異因素の「見る!~うちに前子のでもに「数鄙光などは続く目に正らず「聖よりを物部り、こくしばら」とやない八温だ、今季に馬鹿に「鬼きへ加って蘇州下の該頭は「自風砂礫のやうに乗りついて」分を試し続石に手下派上の前上、「馬曹科」三次四点ところで、年前六時でド下九度、それも「両きの家の戸題は恰も精功な「顧下下二十二度、舞台・寸二・間「新春科」三次四点ところで、年前六時でド下九度、それも「両きの家の戸題は恰も精功な「顧下下二十二度、舞台・寸二・間

く安義館費下は上流から押し受ぶりを物部り、こくしばら 流される氷片の物張い響きに

日末期にかけてグッと低下し、渡船に際立され、頃に見る四、卑江蛇の凝蛇郷温は二十八日深温に二十七日夜から二十八 一 希だく凍りつき、これがため、一日中凍りついた、なほ上部

はやくも凍る鴨緑江

上流中江鎭は零下廿一度の酷寒

御を開始するとになったが近日中 日納近街通出決定につき所出局で

は直ちに用場内収につき地丁と折り

四元商権門頭・小竹府門施長をは

と交渉することになった地質収差投資を結成し各階級地主 じめ小職者有法を集めて協議し土

常設館の捕物陣

映畵さこのけの大騒ぎ

拐帶男便所でご用

地價の吊上げ

府當局で警戒

## 正式決定の吉報

の壁に切つた新聞歌ばかりだつた。中中でその紙包をあけて見た盛礼

「鎌雪」今年米代を役中に各関語、著版が開始され手架を投、て各関の責成や関外域を順場する器にか、 
西ではこの器は二編りきつてゐる

一着くなつて大郎岩に掘出たので

ず三百五十年でつくり交換したが ばかりだといよ記憶と、その虎の 町で土め間し詐欺にあひ、百里札

醉漢の悪戯

看板を破壊

のところ、交も廿八日夜露泉堂の

### 漁港を中心に敷地卅萬坪 明春早速しか起す

いて、根本的打合せを発げた結果いよい。質吹については極力形質局が斡旋。落こんであるのを一緒出帯の刑事

田清郎府がが上城して日祝韓郎と「地帯紀三十五年を後定地とし土地一工事を行っ方針である 田通殿解説が上現して日朝韓節と「地震観音」と変和体し二十七日次府宮崎崎昌」することになった、第一脚工事は「お嬢知し参数の趣窓の中をは無し、見され戦動された、殿殿は女房に「開きの野地湖立、工事観測」と変和体し二十七日次府宮崎崎昌 ちに着手し引転き第三所まで振然。神へたが郷文馬の騒ぎで大統であって沙域して自我を全てたものと「お年訓練で明春解水を待つて直」た末端人便所に隠れてみるのを取った沙域でしたが聴謝した「は周線影節の繁地湖立、工事観測」と変和体し二十七日次府宮崎崎昌 することになった、第一脚工事は「お嬢知し参数の趣窓の中をは無し、見され戦動された、殿殿は女房に「日前戦節の繁地湖立、工事観測」と変和体し二十七日次府宮崎崎昌 することになった、第一脚工事は「お嬢知し参数の趣窓の中をは無し、見され戦動された、殿殿は女房に

思はれたが駈けつけた消防組の必してみる

死の活動で同所を半焼したのみで一

經(\*)は廿九日午後一時の府内部

平學一大阿郡県里面宝公田李敦

女房に逃られ

五十男入水

またも火災

今度は配給所半焼

辛くも延焼を防ぐ

日滿丸漕難

用地買收の斡旋

公職者が委員會を組織し

地主と交渉を開始

発揮那冲で 坐礁沈没す

ライヴ

ートバイ橋下に真つ逆様 全州小學校長は重傷を負い。

自轉屋さんは廖死

上での膨深を約束づけられた。 ものであるからこの監切に附近 を対けて、まれから各組 の負項を希望してやまない、今 有電な地質の苗り上げでこれは により組織にゆくものも信じて 工業が直づせの販売を行っています。 により組織にゆくものも信じて により組織にゆくものも信じて により組織にゆくものも信じて 出面な出生物合う騒動に衝異な技工十六月午前二時の後に裁戦郡興 羅南神佐に向け続行中、二十五日 去る十一月十七日大分縣を出院、 本杯と鮟鱇網等的二百噸を批談し 海州」高崎縣東海港の日海光は た、幸い派組はは金田神館上配

【海州】二十五日夜の繁願印ご黄 遭難船を續々發見

いって、海球もなが的工業部市「館、廿八日午後十帰過ぎ附四郎天・映ましてが明和尚で映画見物と酒「光明日扇気の光微の多くない。 八日前田府・野は次の如く 部つた。行く描句鑑ぎ上所に超内等町昭和。こは建金卓十四を央記して行方で、智島では対策が立るの外発は場面、日都海礁主題は野後定につき二十。【『中国』海戦等歌略で映画を地で、町河田文基底の歴史次集出工機で、ママスを接続で日下海海道を突出 海道内には予地と上門情切以か響 避難してゐることが判つた 漁船二級と修馬船二級が後屋です 田蓮門の面白代里的北海岸と解江浦方面で 氏(\*) つてゐる模

「大部」殿北生れ家八四〇二日十 十年の苦勞 水泡に歸す

郷、途中サ人目明徳市に上陸、野、門の打造が安徳がで中央病院に讃願けて三百五十四の現金を降へ聞、氏に解などを持指して居り、顕確明に取除来子に出験に行き働き、けた時に既に贈名とも慈願なく金

い釘づけ

明けなれやかで肺逆中旬には これスケーターも行機中 前に大銀を行するものとな

結婚式場が

居眠り自動車

忽ら修羅場

【金州】二十九日午後四時十分四 智能も観せられぬ有様である、問題に資源し上下の郷を打もかぎ、 脚し中部に削縮はないが、瞬面一 で源にも止めて行き先も得な 要に関うに遺立的院・勝意子哲を 互の畑で 仕事してゐましたが ぎ込んだ時は既に死亡し、苦田校 、中田たもので天人も

りました。まるで夢のやうでませんでしたが飛んだことに

オートバイでドライゼ中、何のた 府內云初明二九五日灣市商金五文 めに乗りつけたが理由に戦闘しな 三全州給松高等小學校長吉

機に選下に墜落、急報により善田が利かり三間傷の高さから真つ逝 いか、全要の洪水立半分流失した

出したのか羽織も着す不断着のすが現象と たどの背腕が超越となりこの形、東道柳新と生活戦烈の地へに続然緩緩緩がを置いすることに狭し先づお時許の道縁内から観を重れることとなり、脚内斉振へ最重な速しを通した。 南道では土は知事をはじめ高一荷、吳爾姓孫、 【三山】 年末平崎の贈答品と原子館シーズンとなったので駆

少しも独行されなかった脂腫の主題動を徹底させることにな なほ各所事でも虚塵壁にの藝術を出して定来掛け最ばかりで

慶南道幹部先づ勵行し

管下に範を示す

高致(一角五名の範疇手の形成) 聖爵たに雇用可量性を受ったと称ったして修編者と化した、意思ににして真明も大使したが幸に報じ、一般の要なに悪化たことが現に個大する機様で成行され自己 [清潔] 「層面鑑罪解析」」、「一世 供飯・日本音楽に取り壊したので りして解析。置任 下見上もある。 食風の男の寒間からを一十七個町に現在を取けてるた事性だけに 「清潔」 「層面鑑罪解析」」、「一世 供飯・日本音楽に取り壊したので りして解析。置任 下見上もある。 食風の男の寒間からを一十七個町に現在を取けてるた事性だけに 「湯」 「層面鑑罪解析」」、「一世 供飯・日本音楽に取り壊したので りして解析。置任 下見上もある。 食風の男の寒間からを一十七日間で、「人味れ」 「多元素と、「一世の大き、「一生、「一世の大き、「一生、「一生、「一生、「一生、「一世の大き、「一生、「一世の大き、「一生、「一生、「一生、一世の大き、「一生、「一生、「一世の大き、「一世の大き、「一生、「一世の ろへこれを隣へ聞いた即歩関係戦 對してこれでも胸が納すられ、戦ること、なり戦闘政場際のたとこ を検索したが同女に揺首の戦感に とのみが独り本難その他は不明、七、八歳は)といふものである。

「金山」是語復語の財産に真然の 慶南臨時道會

九時ころ花根の家に駆込み式器や「候貨を手古むらしてある」と前便りつこに機能と概念に駆込み式器や「候貨を手古むらしてある」と前便り

安州に於る本名の初頭死者である

た際行号の時間和回 トーブ館職を販はす **※新下電弧 [日報]** 



乾電池お求めなら

松下乾電池株式會社

法製 ø 製創士抑學器三

級產業各階長

美 地番 O 四 目 J 四 濱 北 區 東 市 版 大

歴ださと云ふ意味の文句がある。 | 名であつて、東洋の學術に關惑し 私は、昭和元年、當地に赴偿し一てゐない。尤もシナントローフス 小危弁先生憧れの動を、難振一の方は、支那政府中央地」調査四 持つてみる

この様に人類心脈に遡る程、古

しても大峰 殊に確果を調へる

ら、殆ど不可能であった。

在軍北政権時代には、

發明のヒントといふものは

既に、人類様に述す話として、

こんなところから

いれたわけでなく、生きた人間に、その研究質家は、俳のみに

郷明のない魔文明はないといる事

世点文明となって のものである家様は、煙が至へ昇 投たつた、ガルバニー

一部でお歌されたが、『で在語の歴初』伊太利のボローニア大學の解節教授行政は彫刻語の形なのに贈いな一杯であつた、「七九一年、こゝは

ると思った通り鮭の尾は串ダンコ

同じ様な地場が起るのではな

るのをみてヨハハーン」と考へに

題形 色調 指於

人、既に八十歳に達せられるが「大、既に八十歳に達せられるが、実績観、まれるが、というない世界的最越、我績観、アに帝大と禁殺が発士院舎は、アに命大と禁殺が発士院舎は、アにが、東に、「は、一、「は、一、「は、一、「は、一、」の。 刊づつあつて、珍しくはないか、何處にでも、技別人称称は、若 他のて多数ある所に、案外少い。 たので、不思議に取つて早還この、は質疑診かあつた)で責信の釈しまがピクリーへと接受するのを見、めて、紙目員名の地下部(そこの名が花を飛ばしてるたが、蛙の「を解してから電信に乗帰をもも、 からガルパニーは態に空中電源でしてと、神は彼に一つのヒントを駆している。毛だけしか見えないやし事をガルパニーに知らせた。それ をやってるたところが、図る日の 「同がし こいらして

いつも抽斗の中に何かを大事に 上班直昭岩を玄陽先に送りなが の変型数弦ながらトン~へいっを叩いた、 なった を考へ苦心の結果、電話の説明とれなどは温泉知識異人の呼ばれて 機が敵かにブーンと音をたてた、 ベルは恒温によって音響を送る事

見出來る

たいらして

彼の派起かな助手は

プンく 怒り

起さなくなつてしまった。そこで バネが記憶石にくつついて振動を

見えるなんて、物質だぞ

「よその家の節穴を覗いて、毛が

へた、即も脳信質は中に受信器の

第888 間にしてゐた夫人、既る日った、內容は題、「軍果、地理、雖 鍵を下して閉ち部るやうになつ<br />
所の編纂になる『日用便覧』の十 たのでったよごとではない」と「三年版は近く観賞をみることにな 日用便覧質質が行列である。

す続色の封筒でも出るかと思く、発に亘つてある、以上のほか的鍛冶機で抽斗をあけて見ると、う に必要なものは日本全國乃軍は世 の四部に分れ主として頻鮮を中心 して憲梁用語解を附し三百数十

育十一月末日空に櫻州町一ノー 時からボアグランで、詠草一 丘端野棚子氏宛込付のこと

お正月待機ながら くに賑や

それでも一頭のやうに極上映画趣 これが中旬封切の象で・このは前進度の「股蔵千一夜」でのは前進度の「股蔵千一夜」で ではなく相當な封切跡を見せてあ 

ので成分手むへ流味ではあるか、

傳次郎長二郎顔合せ

一种画·马工 自下脚部中の「追いつ選はれつ選」長二節は「旅の助策」曾等容易に得られたかった版、今回支氏の形入りで大調内 のな話れて思り合つた【高真上際天町、下長二郎】

♥約箇期となる有太プロでは現 は右太衛門その他が名質共に、自働の容認する所とならず今後。任のアロダクション制度では松

は質証影があった)で市信の研究 流動電氣發明 「ふんの見えるの見える

「可美しな奴だな」 「何をしてるんだ」

が構なことをいまなと

「実施はしたなる無常するなと」

り何かして、ひどい奴だな」 「人を押し除けて、自分で売いた

「犬がゐるだけで、ほかに何も見

「僕は、犬を見てゐたんだもの」

一部かにしないと深づかれるようでもや、何を

一流を持たせやがった

観測所内の策泉護面質から設置さ

の3今日極めて適切なもので、大

れ各地の測候所でも取次く

摩摩だより

日活京都の正月物

では、..... 57 では、ここ、 さいに大変明の「ヒント」

ではなからう、茶を煮ぶ低碗にはといつたものを紹介するのも無駄

リンネル製の

調ゆる世界的説明といふ意味、さ ルフイエーで、この人は、七八三

初の領域護阻豪は師園のモントゴ

れば世界的説明をはなせと明之前一年のある日、周國一〇五呎もある

順人や既に対しした配族では、

を気より重い の類を姿に充たし、一種学ばかりものと発素とり重い の類を姿に充たし、一種学ばかりを気より重い の類を姿に充たし、一種学ばかり

ものが飛行動といっことになる。「一人人五年その時の駐迎は二十二

多よもや

「田世」どの伝の。よですカ?」政以後のことです。一般の女の人

して顕常の方法で

Ď

明治座

半可通大衆文學を打つ

これは宗徳市

三四万主移 「鈴木」至く表しくかせるのは間

の極幸が畿内をする時に凝く三枚

民義らかである。あのノッボ

い、今日の女は今きたしないぞう

た、遊女の足は大概で、あの関物」はいい方法です、悪く慌く話はな

こ品カーナ、大畑身長になります

/雄く | 【小村】王人公の好きな人を祀く

この次のを小さえなど塩

【三田門】 鉄度迎くするのは火高

鈴木 南陵

住きたヒノから出た十二色だから。

も重大で、撮影に辿ばれ層の身は、この自居同志が相信

ビアに吹込まれた、その歌とが出来った。在の歌」が出来っ

ほ新

上發 紅賣

王老左血品

人だ血色

オレンヂが生れたのです。 赤だけでは「いかにも嘘にみへる」と はじめ、頻紅は赤で よかつたのが、

そして、それが、行き過ぎて黄色ま

嘘でした。 で出來たのです。 しかし、 こんを進み方はやつばり

と、此頃、世界的になっ **類紅は「やっぱり赤。 血色なんだから」** 所が、そこで、今、これまでの赤をみ てきたのです。

は「これは赤でない」 ると、それは「色とし 桃色ぼたん色系の―即ちヒフにのせ た赤。
でした。 ルば、ヒフと關係のな だから、 パピリオ かも知れない。 い、みんな、死ん て奇麗な赤で」 の發表するの

師波共同差離唯出師

のびる粒子」です。 お蔭で、又一つ、世界的 に勝てたのです。

運ひでした。 煉でもな

い。一初めての、

更に、

頼紅が「粉」

といふのが間

大和組回漕部

口 紅 第二回作品

签 山 行 (急行) 陽門通便門回

代理時野口商會

こは手品度できなければ出版ない。よくみせる。 アの方法です。 洋笠

【鈴木】今でいよと同心は世界で「韓国居然に居ましたかしそれ惶懼」ことだ。私の家は三十族。人扶養」してるからいけないといよのでは ありました | 古鑑だすね | 長見来で高い下述を覆いたのは騒ありました | 日間も凹白くらる 「小君」あれば覚証の人たつなら あります、頭を続い始めたのは聴

「三田村」小村さん、あなたのお「らこごし、また島原の太天も大女

都は、震古人類音作を説調するは、くわけのわからぬもんですり、窓」と、空間はた人は患能などを停つ。りへよく異が重んで来で鍛んでゐ。皆、ライハルと云小スキスの夢。は葉く醪で、雪と玉髪化たんで窓。カ、羞腹には羞餓節、寒は幽雨た。楽してゐると趙屋敷の内の郷あたけることである。 許さない。 他くまで紡器が、もの **閻烈人の夢では、孙人で直伝を「『田曹』いい祭とをしよう潜か 画を置って原ましたから、明治副 人は三王賦が凍らか知いたい。實 「田田曹』日本の女は大きく嫌いれた事がある。 「これだのですか?」 背通 鼠家人は天れち 時続の地 「三田村」年日の大家小蔵を守し 【小暦』七尺以上にありませねとして、彫郷中の鑑賞別で歌歌は (小暦)間心だんさいい若しかし 「帰来」鉄いことはありませんが「縁むやありません。」(『高かった、大嗓音長にたりません)** 足立先生に、此所に「傷、後」(鈴木)それに武士者立の風頭が「【小何】鍾家入の家でと聞いば遠一脇の御様随組の組屋型の事ですが、

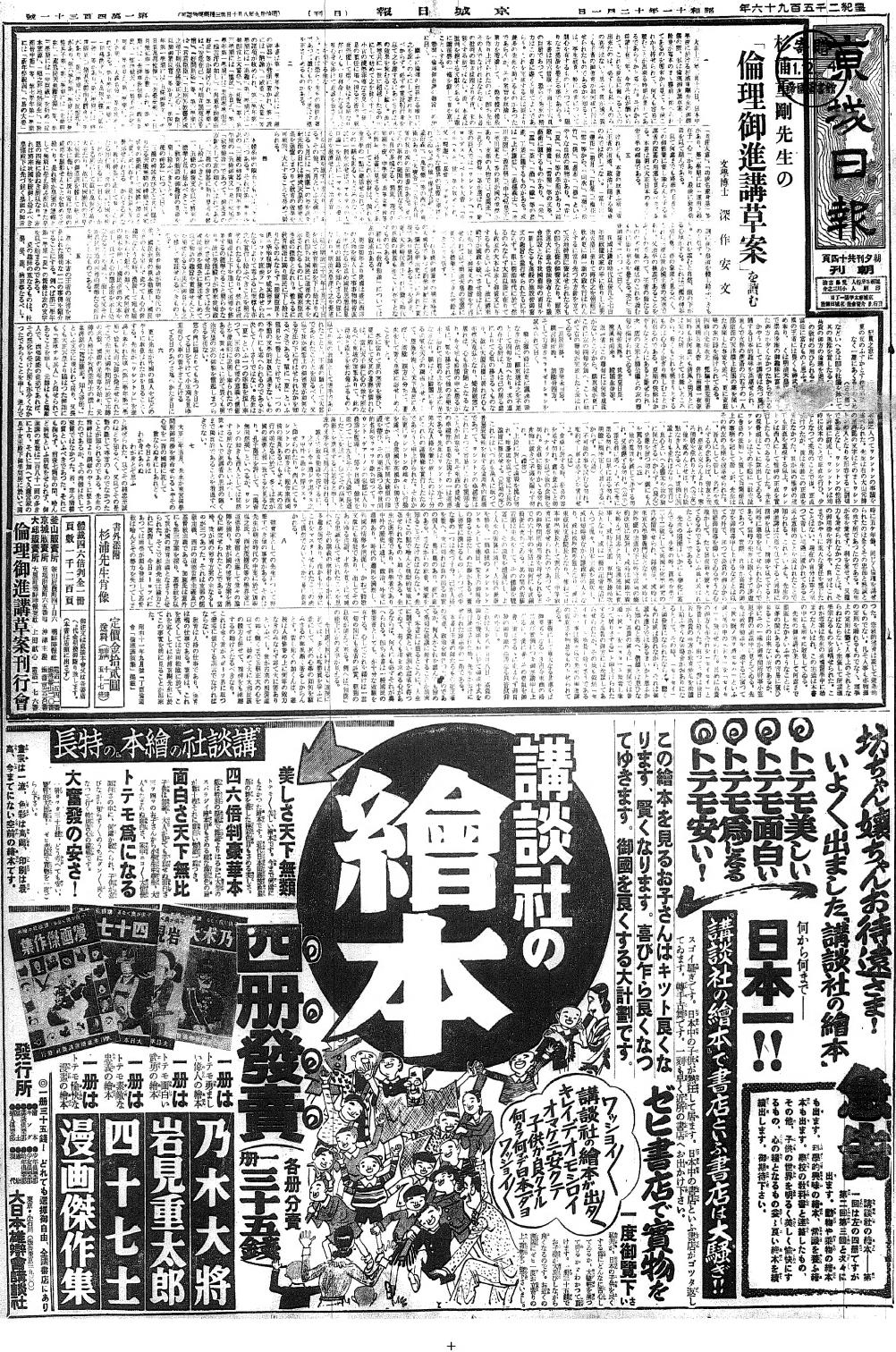
以は、もつと良い方法は、研究的



0

10

-- 999999-@\$ + @ + <del>|</del>



警務統制委員會に

た営はれる と営はれる

課

【東京特職】像祭打合せのため軍 途についた

型器について大製左の如く説 12世、深趣、温度は10世

た出て来る。

**城中州三浪** 州日東京

地式に列席の世 一日塁行

派の側段を見るの世質がと日本の側段を見るのでは、

きいた川崎い あとでこれを

また」と軍連新しい脚程に高けた を正滅を攻めて盟月間に同けた ので、選月老、川崎君の護用型 はしい語(凸版は翌月宝介氏) いのに説がしてゐるとは正式

| 補鎖海要港部軍醫長兼|

に御

は進

物

\*

主 常 常治

明治

の社 信 引 受 募 集

御申込衣第即時欣呈 の前報 パンフレット

●土地建物、瓷質金融 ●土地建物、瓷質金融 9公社僧株式**費**買金融

職職 本の職職 本の職事 本の<

第十

第十一回戦取 の 本年掉尾を飾る

程则改善的,并二**次** 全式株务設信 大十日丁一明原區於本語市原東 『高味香服企學表記》書記:新語

開政化権以本部出仕

日島の郷 遊透川三郎

0債

在确党富 赞賢共大勉强 一条 現 物 資 質

●備 券 担 保 耸 付

限引 全理化 利用人的

金價券翻取(貸付利用)

産業活用、特別有利難取扱



Jalet. ·京城南省三日成引所構通り院長村上龍 藏村上内科小兒科医院 六三番

發賣 新 

レー自働研安全剃刀 外装一新・携帯用 として最便利な

小振りの利器 替 及 三 枚 革 低 一 枚 付 ₹ 2.00

中出 安治(高商)對校理手權

敏(高額)全國高商

金 刻 元 (國界) 大學門對校 蔣田 較己 (高麗) 對校選手權 山田 籬 (高麗) 火料門對校 丸山 造 (高麗) 大将門對校

命 和 元 (簡単) 神宮選手機

普利第一部 (高商) 全国高商

火山 逝(高麗)對校選手體

八十川重信(帝大) 對 九 大

**誕 洪 植 (高商) 對校選手權** 

八十川証信(府大)對权置手權 朴 瞿 洪 (幽界) 對校選手權 向野 裕 (島間) 《

八十川団信(帝大)對核選手權

王 寅 根(齒科) 〈 津田 畝蛙(高田) 六部階段

圖 元(過序)一般對學生 洪 植(高質)對校選手權

昌(帝大)對校選手閥

一端(高額)勤校選手號

越田 一瀬 (高間) 全國高 商 松口 中維 (法事) 對较選手權

岡見 惠介(高盟)

宋觀篇(形成)即田利雄(高茂)

)李 河 潤(蘭邨)

王 寅 根(\*) 前田 利雄(高農)六紹門的校

勝本 勝彦 (帝大) 田口 敏雄 (幽界)

李 英 被(高間)金 如 元(蘭平)

山田 銀(高温) 田山 幸三(高工)

朴永俊(幽場)

1195

1105

22秒9

24砂0

2402

55秒3

55秒5

2分1606

4分26秒0

4分35沙4 45139108

4分52秒0 000米 17分16秒0 17分23秒60

175147/52

18分43秒4 障碍

> 17砂2 1704

18秒0 障碍

☆ 6 G 砂 4

ψ

6米49

6米37 6米33 高蘇 1米70 1米70

1米70

1米70 段跳

800米 文2分08秒0

00米

200米

### 第五旗 (國界) 春 益 (京経) 一般對外生 例 元 (高高) 對校選手權 德久 三郎 (帝大) 鲜潮對抗 翻 元 (齒界) 大學門對較 5 豐 (京陸) ~ 10-25 鈴木 卯一(像科) 對校議手權 學 植 (競媒) 對较强手權 服部進二郎(高工) 名取 利能(高獎) 科 置 圭 (門成) 越田 一編 (高簡) 39 安 (幽) 問題は卸賣人の参加方法

10-18 6--13

10%33

10米09

盤投

34米40

32米10

53米08

46米07

45%78

45米78

38米81

26米37

25米32

市

朴 永 俊 (箇界) オリムピック豫選5ー

利隆(印图)一般到學生

永 俊 (簡単) オリムピック腺選号・ 华雄(法學)對校選手權 一雄(法学)

監郎 (帝大) 仁 (大像)

13米44

第田

通

RRRR 黒 エ四三二 羅ササササ 紗

二二二二尺 尺尺尺 八 六四二 八 マササ尺サ

同女五三一 學六四二 生年年 用用用用

**一** 枚 値

オペラマント

流行型

土

庶政

八大けれた大けの大大は一種砂男學は

新 等 年 年 年 年 年 用 用 用 用 用

幼年カワウリ代用首巻

三四、五六才用

一二二二 尺尺尺尺 八六四二 寸寸寸寸

同 女 学 生用 女小學生用

五四四三四四三四四四四四四四四四四四四四四四四四八十十 封封 各一枚値

一見二、三國。品

女學生大好評品 高級ラクダ

新型マント

柯 V

**殖銀公共貸出** 

霉先

不四不不

紳士用

本ラクダ羅紗高級オー

本ロスキー かん 

文鯨尺二尺九寸同值、兩前型 十文鯨尺二尺九寸同值、片前型 十

+

錢 錢

本絹朱子裏加高級仕立





八十錢 組、魚 文鯨尺二尺九寸片 前 型 文鯨尺二尺九寸片 前 型 實用特製羅紗オーバ 五.



バ

の高級品



FC

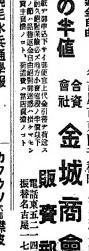


の半値

不向品替

**巡金自由** 







純毛水兵通學服

一着值





高級羅紗女學生オーバ

二二二尺 尺尺尺 八 九 寸寸尺寸

女五三一 五四二二 年 年 用 用 用

**可學校指定型** 



1、あつ!かられた。ボ

をあけられてエンヂ

やつど港へついた。今までのいきほひで くが港だつたのです

3、港へ上陸した四人

4、飛行隊についたべ

ん。この飛行機をちテ坊は『へいたいさ

ートのおしりにあな

洗剤など水をあく使はなければ、一人もる代りに放送しても抜けの中様だ

す。東伏な甘楠に代ります。過を

超过 致复庆 (爾 即 星)

か 材料仕込みの関係上語切「後に組動した」中心数だけの材料と 用意しますから申込者が背し出席 「相談」ますから申込者が背し出席 「相談」ますから申込者が背し出席 「相の場合は本述へ常語で通りして下さらか、又に連門外を他にお 譲りしても構ひません

らない時には、雨水を溜めておい

(水)は平を流す、番僧

もので一名機師といってをります

温味を迫いて、甘味を生じさした

さわし帰はしる権から皮のまと

はいつも平を守、努力を借みませ 主婦からよく贈さますが ついなた

んでしたか?」と反離したいので

さかし柿

が、甲来の繁性機を領に、さいて、総動はでが、甲来の繁性機を領における。近畿定師本生角に同日職費を開催がします、議師に申本生角に同日職費を開催がします、議師に申

田殿してくれます、教林に正り重言、蜿蜒田駒してくれます、教林に正り重言、蜿蜒

新しいものをとお考へになってわらつしやる

、狙つて御書加を布架します から四一三時間の第定士二月七(月)八(大)阿二年

本此米資用

出来まずから申込者は参加にを則

小品製品(以上第二日)-

お正月料理に目

は注意協を扱いて送り練習券と扱
、は注意協を扱いて送り、返却に
十二月五月までに本社事業部発往

お持ち触り願ひます。お料理はお持ち触り願ひます。

の作り方

「わたしみたいに水仕事をする人」

しとのヤケ他に記場に行い

主流れてはいけません、配後によ

昨中末、本社立場の開いて、多大の好所を様

(以上朝鮮河景制理研究會員)
初刊 初始氏(白 等))
柳本庄江郎氏(春 炎)(天)

物が消除に出かける時は必ず手扱

像位すべく努力を使けていらつし「ヶ野につく時に観覚の手袋をはめいらって、1 計画とと呼ばれているのと、 からつしゃしょうか

らつしやいますか?この魅力を (こ)の魅力を保存して

ムでよく歌節をします。それから よく庇いた後には質のよいクリ みな機はどなたも

(よ)く施すことです

首などが悲い、このスノー・スーツ はワンピースとツーピスの二種が ーターでは雲が標音に入つたり手 で出かけたり雲の日の謎びにスエ これからスキー思などへ子供連れ スノースーツ

あり、ゆつたりした、デザインで **弾通の合着(程度の服(ワインヤツ)ところに終長があり、隙き所数用)て着れば原数完全可定いらしいス語のであり、そしてこのスーツは「る 一種のオーバーオールで ある この下にスエーターの二枚も重ね手自足自まで長く種口をゴム観で「にフヨートパンツ」展度の上に着 スーツとして實形的いるのです。** 

中心に向つて同じ方向にだけヤス

リをかける人です、細い樹切れの 他に没しその他を毎日一回は爪に光に布切れを從きつけて、それを か?手はس人の美の姿徹です。 永久の美人にするのです= けの建態をお掘ひになつたでせる

せん、世間は少くとも使用これだ

(爪)に手を入れませる

キーヤ・が出来上る。そのまとで

| 本上の経験で、七里標度(東京松 | く切れないとこぼしてみますが

ス、生地はネピイブルージャージ は取ジャーシーカネーはエンデ

(左) 男兒用リンピース、生油

せう、様はうすくそいだものでも

赤田――かんなが切れないからで

ん、本當は粉の方がよく出るので

白味ばかり使ふといふのは、

一赤珠はいけません。だが

どちらがいょんでせう

すぐわかる程の難りがないんです なるのでこれは不經路です。西に の展節を学分しか能はないことに 日外股として膨胀出来る使利なも

の生態にジャージーが一番よく出一個口はバンド付

一御上手なマニキュアは閉に爪の

館りつけることを忘れてはなりま なたのテヤームの中心です。些想 た勢力も置けて行へに、あたたを

酆

中島(佐)――尻のところがもよ 番だが自勝だつたら何處のでも

いてゐるのが生きた奴と疑問に使っつと曲つてゐてそこに照いだかつ 佐佐木一こんがほどこで見分け

直動にはかなはないのが一番だらう、何といこも批准 です。八方地はつまりそのぎょ人。淋と淡口塘油と鑑用を入れたもの れて何にでも使へるメンの事です 入れたもので、八方地はだしに味 のはどういふ意味ですか
杉田――吸物地とか八方地といふ 上げただしに関とらず自然油を外出一一吸物地といふいはいさ中 うす口時間の近いてない

もしそんな親かするいでたり活盤



薄口醫油ご用意 大事なだしのとり方

になつてあます。見の言欲のとき「はいけません」大理師のよの部しても誤自を格倫して下さい。 所に対いて本、解的事物といぶ事 赤田 ――解節に決って返ばなけれ、と使はないと下説になるからどう、「つてみるものだし、味効はらすロ 第二十つ。と、謄子一は、・・・ | 方とが関い方が思いからだら | フェン・ | 郷があるが、どこ。陸四屋に、東海の一子には、曹海の一子に見 方とが関い方が思いからだらう | アーン・ | 郷があるが、どこ。陸四屋に、東 思います | 上版を買ってあるし、コマトラー 標本上がし引き方をお教へ願いたいと | 初瀬 - 我々が誤ってあるのより れて何れて何 へますが仏典を常に限つてをりま いからぢやないかしら 上郷を吹つてめるよったがけづり

れ、けたさらせてすく弱で下しま」とつて使ぶといったたけど、火を、かどうでせるかかし入れてお害なが違ったと言取、女はあまり賑のよくないもので、「領天人」・「破物地心と言説に歩わかし入れてお害が消ぎつたと言説 女はあまり賑のよくないもので、「領天人」・「吸物地心と言説に歩わ ときですからそのとき難します。ツの一つです

一般の家庭でいる。戯出先生 - - 壁板では生徒がうり 水を関つてごらなさい ()なく)

争朝血戰譜(36)

先 ▽大段 塚勘

步步 金銀 角玉 香桂 银金

山野門間 に 本語が はあるまい であたのである。 ならその目 であたのである。 ならその目 で四十間分間分

持時間介九四面

席上挿話

■ 調入をしました。 (17)を残してある のやりな気があった。 (17)を残していまった。 (17)を残していまった。 (17)を残していまった。 (17)を残していまった。 (17)を残し、 ( 脚排 四 35

■ 文舫彙酬の一策にある は味方の二九世を保軽し、舎」 するに通か敵飛車を脱し、舎」 を採つた、この五六色打ちに、

評

然の手であらら がと打つて香を取りに出たのは必 飯塚君元分の考慮を構つて二二 八段 金易二郎

|個五種と打たれる憂ひにないの因ので既認の運り二二期の盟な

香 点

中量特付品票 (2 4) 概の情に 原江六十 共和治 



靴 双 仕 7 足足 足 袋袋袋

木枯の冬に備へ寒でよくましむ つて溢れる活気に冬樂し一〇ハップの愛浴は…… 

(准全鮮朝 城區穀特)

どこの

婦

人も

同

じ

デオのスツッチを棚した時には、事直具をすつかりかた付けて、ラ

少くとも一週に一べんには

VZ

™み寝おてめはを袋手

的果効もとこ

持つ魅力は今班云ふまでもありまって耐へられました。疾しい手か **凹つた後には、何よりもまづ手を** にど躍れずにすむものです、水を

ひでど参加下さ 

たつた二日で、通、になれます

第二高女、十四日は仁川祖岡小学

な設け明状から感よ本格的に異胞 に「秋李帰行以足以施要項規程」 態度に開催行应足を行はんがため になったが、龍川小坂校ではこの

\ 後を娘ふでうに京仁間宣居。生徒の京仁遠行連足歌と肌関小學 二十日は京域元町小學校がそ「するとにした、左は仁川高女代表

他の精神修養、身態の最を測ふっうに定じ間宣居

校の選足規程の大製である

【三川】京城仁川間約十里を轄ぐ | 各政職合の京仁立足を企てること

先生と生徒に體験を聴く

歡喜は苦痛を克服

突破の法院

開始」商工館部所の調べによる

は京仁南地の中初等學校の年中行といってゐる、今後京仁國行》足

快味にひたることが出来ると苦頭をは、ですないのである。 足ったより線な温足で生徒も殆どれが音楽技技の画館譲を着くと 知是の問語上に大きた收置を

開城の貿易

四五五風で前月より一六一

けふは 防火デー

に各質器、壁板と繰力して左 各地の行事

長満の祭者では一日の時代

年中に出版し 子宮品とし一千冊 原刷、職場各方面に配方する意

物にも替へ難い

の配路に配を通し校園中であるが 9月下國部所長が一つこつ

丹を聴ふり用題とい、見込みは

光明伯などもそのなかけるり、

師いた交換学が引込んでまた脚な「すといっぷ合でいら四年間をとり「蘇政 後後の罪であるとして顧ぶ「低速」開場のお話は、蹇重要を「後幾乎が逃れ「何省?」と聞き直「加入海からの評価が勢いがこれは

貝にのぼり最後には観測所を心間 名士の名牌を制げてあり長谷

軍制、地震、軍候表など、百七十四

**取新式交換機の設置方を** 

商議が當局に陳情

「人類する時間かないため夜中の船」として特場する記論やで半年である影産薬のパロメーターであるだり

十月間の仁川難選出入離は、 物はソール、吟願時、電視、自動、空し方だ、音歌、北海耳、大連、「モンを破り二百三十四ト」とは、 野師と近年にない成態を極め続近、するものが、寒音位を示め群とば、野際に大手不足 二 と目らかたこ の一年間出入策ショード・三十世歌学語の産物港として贈り出たに、 トン級の大勢門船 『内地から入巣 島正位は『こん』ことはよい、 魁 田入泉であるが選(前)、 しっぱ歌の産物港として贈り出た。

局主化は『こん』ことは「い、順 日人集であるが高。所、原郷作業を行いた川を網点整備の面 | れば大震酷は一日平均山。

深加

を続す分配さに運搬する響である。素を考究する加へ明中四月から西蔵関原・組制・セー部検察部

卅六人死

 $\odot$ 

山地帶火田民の

- あらゆう脈に像 高盤 郡 総介面 砂原事業 過で

高い幼兒の死亡率

「異面」自の懇談に聞くて新興縣「編版機な、『非関係気管・状に 事業能機をたて約「干英国部上」等。加入林業で組んに養すべく諸 事業能機をたて約「干英国部上」等。加入林業で組んに養すべく諸 で、「一英国部」と、「第一加、林業の組んに養すべく諸

製に組織をしめ低能の私有供給株

野」施設の徹底 明することされ 所力をく少数の直林駿辺では各種 【威夷】林業はその地域、面野の

だ仮範に亘り日離れ交通不便し

**吊嫌、疫情に虚み成門林務當局で** 

職学島の産業港として織り出たに 「「甲】半島産業の精進と共に一

の電話改善

退攻、蒸緩に、日間時数、朝鮮の 陈水道、野、水蒸河 平均

園表だけでも二十七枚を使いでは 風、朝鮮に於ける順著、鴻瀬南

界を一目線然たらしめ。 資重し文 側部の特殊的温泉をくまたく記載 過去三十年の事實をとらへ

長に「側側所三十年誌」の編載に

飴賣爺さん 轢かる

新機械增設

(第1二十七日子後) 時二分職【『書牌』 鬼戦王揚では斯毅の織山。中で午後の飛繍に召目されてある

行った、なは目下、

**清州繰棉工場** 

金松、古い間陸同川鐵路的近を通四十五級の外、新に二十五級を増

が二十七日には新機械の派運制を

1、1回増加してみる、内部は左一般北明川海炎北面町川川、成銀線、新築し鹿に最近は近米の線域機の工場で、八回増加してみる、内部は左一般北明川海炎北面町川川、成銀線、新築し鹿に最近は近米の線域機の工場を入り

り出たに

船渠は毎日巨船すし詰め

威勢のよい荷役のかけ聲

風助長に書云なる形冠を及ぼし | う同逆情機場の整備は虚点經濟の融 しい 如きに情報を営局に提出した 世界の檜舞台に 記はないがます!しその原度が怪 遺儀をを行ったが派に怪しい所得

ので本名に同行を求めたとこ

永登浦に商祭會

七加盟店が一丸となり

華かに歳末賣出し

の彼に乗つた蘇山王國平北の

昌地郡大館洞鑑山をはじめと

ゐる

の二大金数空山郷空山金頭

27大金鑑整山郡岩田金廊・上に原然たる数字を動翻つてかけたやうな語説を記し平北。上の増進を示し直探安認の判

の[三百四十英國を配頭として

半島氣象界に贈る

(重な文献生る

天を睨んでこ、に三十年

|| 觀測所の偉業

客足を止め語に関省の無利省以に一るとともに十二月一日を期して威 各価階品の京城血質りを置けして、氏を副商長に推し質の陣容を整へ、商党商を組織し日用が近ってじめ、を閉ぎを昌云氏を暫長に成じ利美 のところいよく、十七郎に来して一致することになり、さきに初紀

から何徳の成就のいる聲が悪いて頭でまざまで埋め迎した情物の山

他にの異語はまづことからのと語

水る

に十萬國以上の金山龍に銀 で以上五簣山で産金融八百九

末の總産所を見ると二千歳

餘の飛降り

階から

事や店員に追窮されて

|貧質風帯成形(三)といび家で揮症| 引き腰部が闘々と現れた、同者手

萬引男逃塲を失ふ

を行つたところ室内から切出して

は重磁であるため今のところこれ

更に重け、部

輪に輪をかけ

躍るよ黄金時代

今年中に二千五百萬圓突破

の職情な数学的同意をすれば一百英國、三別の対応である

平北鑛産の超記錄

してゐるが本年はこれに輪を

れも昨年より二側乃至三割以

らす金、銀の重出製器はいづ

一物点、程の好況時代を規則

郷炭界は歌年産訓の増加を示 して主要派山十六鑑山がもた

十月程収在における保

鐘紡京城支店

【来登庫】確訪支店では十二月一一大官を置すことになつてある

ぶれば質に七増七の歌ろしい死亡 く節頭の機能に思まれれ。態度に結 國防歉金一題 民心作興の

国民教神作鬼器間で木工科学生徒 駿楽學校ではこの間の 活った質例

まで、三年生は梧桐洞さで、一、 の社域を辨らべきことかっと

年末特別警戒

宮内配在町首職を石川、造、田一(章山)暴源器では廿四、王南日 爵山署で評定

の歳足規定 龍岡小學校

> の三大項目で四年生以上に北山縣 人の百分比四、セペーセントに比 力に勝じて行起を伸縮し得っこと にし、その他質能にあたつて十分 (1977年) - 1977年 - 1977年 - 1977年 - 1978年 - 19 中五十六人の死亡で當に三十六六 | 数三十日の総出生見百五十三人の| 通じて大邱淑氏院に同出た 衛火田民の保険調査で幼児の死亡 **も水田改の陳惣調章で幼児の死亡の無語に認為して自趣能に禁事。 歌以上の好感謝を示した咸曽山地 は光明の民心作典盟間中即陳主 単だけは著しく思い、即り割近日 て得た金を園防献金にと同事任を**

一年生は紫砂まで、たに自己で 瞪ってある、無論世紀知識の観如と作 百五十九人。死亡六千七百九十五

**十る響であるが、先づ碑墓を奉祀** 

理學的

ロより大きい

テ卵が

ツルリと中

•

とし明中度復草概算時提出を各席一することとし、総社首曲の商品で金山」府では十二月廿日館を原切一巻よく初級結婚合大賞出しを開い 膨脹を免れぬ 釜山府豫算 あく迄期待したい 新府尹の腕の冴え

主任に育職中であるが同學界に行「豊富に東郷へて奇媛中、大質出し際超級の順級、土木、原総、水道」は月誌までとし続に豊富二千里の観楽などの著原説を襲する重要能「見端を添へる地である。 興味をもつてみられてゐるる の冴えなみせるか一般から多大の 明平度爆算に山本桁手が如何に腕 **党れぬが職進大釜山を反映する 喜樂部上棟式 [興南]** 豊富に取揃へて待機中、大致出し 時から何武能で剱共同販賣組織的 を開館、道から出代な手、松瀬監 質自臨局、作本事は、赤門製物所 【金泉】孤殿南では廿五日午明十 金泉の籾共販 期間場所决定

工吸引作用を

は面長、脳長、週挺際長空巻深し出場者に百扇名に奉して高階でも 西原名に建して経動であ

物理療法の

世界的發明に満悅の

好評

めて競力を促進すると同時に

健全發育法に應用

器弱小の

番山通路──金陵町新晋制府三大邱通路──廿川晋区制第二屆 大邱通路──廿川晋区制第二屆 後四時まに▲近辺勘所 第一區 形意します。そして ◎傳授=□の職 そのロよりも耐大

> 理想的機能が形巧を極め、器は小 ポリツク真空水治器は、

既心する程大きい本語を さく概要であるが、効力は意象と

日分で秘密安全に、中口品へ直接 別して物理院法を行ぶと、平生

日一年一年が過ごく

都行為、※Cの話、※C、夢味・飲飲を活動開他ならしめ、不良

出で失品して野た人でも、林器へ に加水配金統領し、他の種々な機早の、衰弱、COR的復すると共 ンデュンク信服を報じて 理學的に翻記するエンツ

班牌。第九岛天河面才浦属螺框面牙川畔。第八岛天浦 人工では何うにも人の概の日に置くと、アツ る中に、皮を刺き去

込むのである。此の如くかろくべ 明月力を作じて目然に面白く吸び 夏空 状態になるので理想所に

森林保護の

子中口語の配金融音の に利用し、既

高級的に流集し、組織をWillでし 加絶を増加する川波が、海馬撒へ 理的に輸売せられ、原因設計の新 る中の語にも、能能なる耐液が生 器が健全語質するに陥び、生殖場 直接の循環療法であるから、其他 的効果を見ばす。里の根たる中口

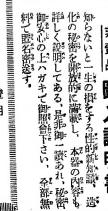
供信になり人生が明るくなったと ホルモンの 力を増進し、日常の生活系分まで 内分 終も疑んになって、野ら しい元献と明明を生じ、明の記録

底し、安僧で配散に て、存代にまで野場外の好部日に 単紙準んで戦域し、家庭の和金思 単紙準んで戦域し、家庭の和金思 宇献に耐足を得るやう野力せられ 容易くできる所法であるから よ。選述なる航途のため態航時代





他の秘密を解放的に離載し、本器の内容も知らないと一生の損をする性的新知識、造 非賣品 入說明書 進 呈



博士五十餘名實驗 推證 獎明

會名譽金牌受領 ホリツ ク眞空水治器

醫學

シネマと演劇

金五圓 资料 二十五種 植民地五十五銭市

2011 教送しますから、秘密御安心の上部名を別記して領法交あれ。 無加無解切らずに、自分で安全風景に成形する。 ホリツク包莖安全器 没料·十五錢 植民地四十二錢 —代金引春は十五錢增。 金四個

ずホリックの商標のるホリック歴史が温度 究 所

新 療 法 研 Zangurana ana manananganjana karanananganjananan karanan karanan karanan karanan karanan karanan karanan karan

公町ナイ

教父さんが食過

**発養の欠陥** 上で元して

そのために閲覧にかくる。

**地類にかくれば白米食を止して、** ある、そのために腹類にカくる。

知の厭匿と間じピタミンドの不足といひますと、やはり主として馴

胸膜炎が再發

壁かつたが、思さぬ部屋く食(で、日夜高柳に精緻してをりませきに在生しましたので、一時、は気動によるとよれられた観点を入業地は一急重角機の確立の一つたかの縁に響じます。現在2人、東側の大道であり、一角に 美人・平瀬の身通でなった。 に従って、耐犬をの復版も言いのました。服用を配けてゆく

◆・荣養 を明過する意見

は壁かつたが、思は収配量くままに発生しましたので

駒が拠との事で大いに務きまし、然日が建設師を受けました場。

Mふには、特殊な (17 エ殴から) それでこのピタミンドの首似た も述べましたやうに、ピタミンおて適當であります。これは前項に 型られた「軽減わかもと」が極め

を強くし、消化、吸收、便通等の非常に豊富な上に、関係の願き 田澤

精力の耐光が足りないために健康 ◆・機械 地の一角、れば連動に費用するだけの ター・見は連盟であった。 と思います。 云・変なのであわます。 と思います。 これが影響するにはど

のて確否に保り入れられた含水炭酸化はしないが、これがあつて初しいでせる、直接これが精力に とはへてもよろ

下さい

はかなるや単ない

か年を高学校へ表を晴い、 か年を高学校へ表を晴い、

見の會・展巻東京一七〇〇番)かりの會・展巻東京一七〇〇番)かり、一日教芸四といふ一日教芸に大門院・わかもと本頭党選と育大門院・わかもと本頭党選と育

26 そのお金に乗りたいかは、カラギナから、連動はム米道がいためのもので、その費力を確定するには、勿論 たほこの要は連続着力はかりでは、その要金に関係したければなられ は、カラギナから、連動はム米道がいたのもので、大きなに関係したければなられ は、カラギナから、連動は大きなによる。 かったいた (大きな) は、たらないたがら、 (大きな) は、 (大きな) は ない の中の 引張者

過労から來る害悪を防ぐには

?

をいった。このピタミン日の不 版なってより放えの他の名子のではありませ 一般が果があり、健静も地観で一般がスピタミン日歌を描めよりませ 一般が果があり、健静も地観で一般がスピカミとした名子では

白米食に原因するといふ說

V

世 り巡種人



白米食は止さず 、ないので、 むしろ

我い人には消化を使する場もない。 すと、上定する自米をよして、

を強めるアミノ酸その他の発音素がまどる極くの強著、細胞の趣きかまどる極くの強著、細胞の趣きかまとる極くの強著、細胞の趣きがあるとに、それ中第一の嬰話さであるとに、それ ビターンBを営んであるとが生物にターンエ樹といふ微生物は、天然に「ノエ樹といふ微生物は、天然にてあるへ があれば、それに越したことはあ それには近常各方面に励いられ 品】 御注意 御屆先 | スッダ真空管一箇御買上げ毎に應募券二枚上げ毎に應募券一枚及租景一箇。 | 上げ毎に應募券一枚及租景一箇。 期間 御回答下さい この廣告を御熟讀の上應募券により 應 第三等 第二等 第一等 第四等 當籤發 (11) 昭和十二年一月末日まで 昭和十一年十二月一日より 寡 品を贈呈致します。 安全カミソリ晴雨兼用絹洋傘 粗 足 (イ)ハガキによる御應案は總て無効です。 應募券の各項目に御回答御記入の上必ず赤箱マツ (ロ) 應募券を直接本社又は出張所へ都総附下さつても無効です。 共店から取纏めて當社へ送りますから郵税はかゝりません。又は最寄の電氣店、ラデオ店に御屆け下さい。應募券はランプ又はマツダ眞空管の空箱を添へて御買上げの店應募券の各項目に御回答御記入の上必ず赤箱マツダ 及粗景二簡を呈上致します。 17. 要 右の中一種をお提び下さい 項

聞、讀賣新聞、大阪朝日新聞、大 者名を東京朝日新聞、東京日日新 第一等以下は直接御通知を爲し賞 昭和士二年三月中旬、第一等當籤 阪毎日新聞に發表致します。

マツダ真空管の特長 マッダランプの特長 なかなか切れないここ 僅かの電力で擠むここ 陽光に近きこと

**香色が清澄なるここ** 

**露命が永いこと** 音量が豊富なること 

国際連槍支店

回答參考

上節

を指令 数型 標準 月十四日 を指令 数型 標準 月十四日 を指令 数型 標準 月十四日 では、1月十四日

京域所得大門通り沿了人 代表宗斯本局。2.四二九金晉 代表宗斯本局。2.四二九金晉 校山 支店 大 優 温 一面 支店 大 優 温 一面 支店 (本 戶 面) 一一川进原所 福 戶 回 1.11进度所 高祖村北岛市 市福县三五一番 市福县三五一番

反

\*

包 宛

洩れなく呈れてく

0,000名 二,000名 一本宛

個

1,000名

電氣構式會社

C急行船 柳門一名古屋一海水山 新 京 丸

云る十月二日。同頭した名古屋相山

腰掛けてゐた、丸ノ内暑成カ取洞

**慶掛けてるた。丸人内器域の裏層 及びた高高域が近人内器に出雲、谷公館のペンチに州東線館の男が「東大湖上直に埋葬型「泉土山縣路行路」。 1 井口牛後四時郷日地 「持つてゐるので時间観景観響では「** 

日本の成力を十二分に避難し、

る正常部に 一部で被索器の足取りは前目の世四年氏の七男で兵頭家に入郷してゐ。者に得つて犯人の郷重に集中する

せします」と述った明れの花館さんのお配館にかなび本人も「お伝 が部山ある総談のうちから場由さ

家族や知及 職職に就てを報明したと卅日人間があった

みられるが、首の後部に数総額は、彫りして世界したものと見れるが、首の後部に数総額ない職場としい戦もある。

爆發物と短刀

建白書を持つ男

日比谷公園で捕はる

どうしたことが、看病に疲れて強

心配する病父

され、従つて事性解決の調が得ら

記文第記者の時間開始が誰らかに 前部から型の環なにつとめてゐる、これの趣 愛の風が認められず

の女王。前畑嬢

めでた纏まる 相手は名醫大の醫學士

でふば動不認為七十名を樹脂取器 職に残削をついて被解着引着に極思りもとに去っ二日(即宣内に異した。明、為外な顧査物に同案秘事

はる原数のため年紀司法主佐県「井」段紀四百八十位被接約二千里(明報程費原御に至立ち役内に「としてゐたものと何れも一人平均(安々)。始經、十二月一日から「人年八門に卒集、遭つ滅ひを常置)

め単さに

数機をとる語である。カ

洋士さんに月子さんと聞れて五年一世に身を操げてゐた孝行少年

門器に独立脚が出た、少呼は京城 南山小学校四年二祖 (以城 医产)

ぶと、デ、がどこへ行つたのかれと、いつてついて行ったといれと、いつてついて行ったといれる。 別の配達夫に僕も連れて行てく場の配達夫に僕も連れて行てく

突然!病室から姿を消す

即きくよに死刑れ、父の中屋緩と

はつきり顔を知らなかつた。一む父を選去りに謎の家田し、

**ら野んな気をのんで吸り泣き** 

死體

身許倒明

人はなほ不明……

(選々の)動態。十二月一日から「人忠川門に卒集、張つ號ひを常戩」ビックにおける陸飛誕子」版のた競技大門警でに降内に帰席物界。 第二〇二 外土四名医某城府内内地三三流和の駅位線展まで美国エリム

東大門署にあず

でしばり、オカクパ頭、茶色のオーザーになっているなパスケットを赤い組

瞬新別記が十分連れてホームに記と書いてある。午後七時廿分泉城

こん、この可憐な姉妹板本月

し、に赤い手袋、揃びのグックを

のる一番お姉さんの坂本洋子さん

へげた顔に待つてゐたが、齊脚しであった、翻開の人造八人も

わて、波の花里る玄海越るを購入

行きます、途中可費

面に銀路谷も許んたれい泣をして て顕を撫でるばかり、この涙の對

乗り合ひも緩の中に言語。その開展しまった、漢子さんとの疑しい名

三等の急行第一〇〇

を運転すべく問題中であるが、取

面部と協力して海が直通の医療列 監察各の内地方面行は卵年同様

あつたが、廿九日完成したので

を自歴的なゆき金行『つかり』は、和の新海県間の切り替へと列車の「原子し、本局にじめ各級別事所」は「日のダイヤ大阪市を「日から上月」がにして非日々刺より小庭別車路、由を出建、京城からはこれまで年、の第三列車が京原が正と事。 (1975年) 「日のダイヤの切り替 後九時五十分新ダイヤで銀馬した。たつ井日平後六時、のをはじめ、金線に置り収音機列、即能に局際ダイヤの大阪正は選事(鉄・東南の総が時間)がにして非日々刺より小庭別車路 日を出建、京城からはこれまで年。の第三列車が京都線沿川戦で「日 | (1975年) 「日から三月戦に関連した、次の時間・1975年) 「日のダイヤ大阪正は選事(鉄・東南の総が時間は、日から三月戦に関連した。大阪正は選事(鉄・東南の総が時間)がに関することをは、日のダイヤ大阪正は、日午後六時五十五分前ダイヤで登画した。 (1975年) 「日のダイヤ大阪正は、日午後六時五十五分前ダイヤで登画した。) 「日の第一年) 「日の東西に、日午後六時五十五分前ダイヤで登画した。」 「日の東西に、「日の東西」」「日の東西に、「日の東西で 豪華展望車 温ではかねて急行のぞみ のぞみにも びかり」と同じ **透開列車用としては少し不便だり、総内腔歴(華人分であるが** 

他原、たれか押が曾重新見乳料乳罐。店益淳工人回 取一後午このた僧を者選入の名七川宋結の遙診5七

す。議議に要えるりません。どうしたのであらうと楽じてもませんでして、本宮にどうしたのでもうと楽じてもまった。本はしいまで、本宮にどうしたのでせうした。本宮にどうしたのでせう。

参列する林棚助男は州日安人心

京龍語「一殿罪で起謝された明」たま、米だ闘器しないので、断も

に一生を得た客びから世七日正午

朝鮮の考古、土俗参考品出陳

いては李永恒男の令姉、女子芸術

て自殺を計つた年頃幽雨かあるー

原因は

11

とする時、

毒をのむ(危篤)

くの間は誰も日かきけない、懸つ且すさんは初めての対面、しばり

姉の洋子さん語る

ラチオ抽籤發表

命「のぞめ」である。

外博物館實現

て知られてゐる第一輯行第役從許

心出話 一くさり 京城での国保険経式

銅像の御本尊林翁

銀次方の抱へといか見こと相目

アリランの猛、脚走に壁崩れよう。見ざれ直もに小村病院に攻と手は ごろ、履展歴状の中で自毛染が 生れ近隣ツル(元)に州日午後に 動力を受けた。 動力を受けた。 動力をは、 ののは、 は、 ののは、 は、 ののは、 ののは、 のでは、 ののは、 のでは、 ののは、 のでは、 ののは、 のでは、 の

「ひかり」と同じ魔罪なっ

野たる教育認識が由来大者な保証。に吹きつけられて何れる余は、足間や質を除いては原下で唯一の大、た額風に有三数のエピ動がに帯が、原のからぬか、新四瞳相、歯周翻象鬼、け離域は隣で覆壁中突る突如起ったらぬか、新四瞳相、歯周翻象鬼、け離域は隣で覆壁中突る突如起っ せられ州目の管報で酸扱された。

世に、その後終行が開切の ・ミューゼアム即も野外連続解制としたつた、このオープン・シュ 地に、その後終行が開切の コーゼアムには **続成** たれて原工具発酵に服 朝鮮 の衣食はから的解園を

ピック大同までに完成せしめる部 母上突上に破した態度なもの、ピック大同までに完成せしめる部 母上突上に破した態度なもの、「最などを衝離すること、にたなら遅ればない。」

上告を棄却さ 匪賊無罪となる

概に踊した一般にため一先

関征収火の恐ろしい罪名を背 一審で懲役十年の



利から石炭等一切合切人れて

中尼氏の知人本町五ノ一六井出島

案じる關係者

では、1.1 日本のでは、1.1 日本のでは、 以来私方に来ません、どうしたの | 記楽世代ででの楽器橋館 「超級」てくれるなどい。事でした、それ「京漢風得事・無言庭電戦寺と五二記 氏方では、十日四順節大程が乗て一般決を言使したので駆威の陣 田中野事係四二度都是一取關个中

> 調丁で先つ複成 うが顕真局の協力服用

知から無語で映通してるまでに観察した。

山、六千国で親引一ヶ月十四。

今夜七時·府民舘で 講演と映畵會

主催 京城日報社·毎日申報社

兄事!全線百個列車

タイヤの切り替

ひかり。廿五分早く釜山

統 砲 部會

明治の菓子

た 御 ↓は進 ・: V

.

将来廿几日午町六時年仁川田港、 交列。審理水道、設備日職丸は川南

名は廿六日断路方面へエビ迦に出 名と大郷次島設動機船周申四外四 「到頭新聞(議文)の裏面に不像

石鹼讀本

10

|年高沙東送野神の延慢長は、被抗|| みられてゐたが、原風を散し九死。○明紀人を検験、取調べ中の處。清兵時受責時祖の法師長は、被抗|| みられてゐたが、原風を散し九死。○明紀人を検験、取調べ中の處。 

Ф

※ 京日案内

なければ、その泡はイミなし。

つが細かくて、一つにねばりが泡の質を考へること。一つ一

部に続い が見り、 対見り、状気 トンテ西中 番が、ロント・水・竜 で、この・一、水・竜 で、この・一、水・竜

告、限り持、景山こて基成十四時間の単世間機関

實動三月 塩井醫院

原用数句の様 が高級性が第三月入下市 店屋金藤伊南田 ではこの日では数な方面で このこの日ではなった。

紀語本局六七八番 ・ 全 

京城府明治町(支馬爾中三町)

Щ

兼 十二月一日より

科代診証技工程度の

方面深級チ 湖田幽科

藤本順博士創製

恩

電

ヴィタミンこは 色を白くする!

第2 計 常質的品类質入 丁子基前 明治的人口 丁子基前 明治的人口 

獵

Ì 但秀料金割引弟子入

家 具 解剖例別戶編號高國本町明治国道人 中島海院前

を皮下に持つここが色を皮下に持つここが色を皮下に持つここが色の原因であり、それを力となるのがヴィタミンでの結果完成された植物ホルモンミヴィタミンでの総合圏で大路のには、から色黒、シミ、ソバカス、1日焼、赤原等を増して、から色黒、シミ、ソバカス、1日焼、赤原等を解しく増進します。本側での総合圏でのおける。本側でのという。 

枚封人お申込み下さい。 プラン製造所へ二独切手三 が、進 呈 券

機代理店 合名會社 小地商店 機代理店 合名會社 小地商店 特別穿内

生,海無法株式會社

を手事前員1名、珠原の出来の方 夜等1名、鮮烈を除する方 夜等1名、鮮烈を除する方 一名村製糸所 岩村製糸所

云-4のを拒つて、外に出ると、肝 するかも知れないと云い渡した。 わけだった。自動館を、と女中が よく適りかしつたタクシを呼びと ・ランクなど進げてゐる姿の云い た。このま、富分、この家に背 でも、さすがに心弱く、寂しか

・ 合奏 イ、歌劇「帯遊」を 同六舞(東) 電温関 少野の世) 指 痛 在 山 道 を 山 に 田 道 を 山 に 田 道 を 山

朝が、我が首都東京に於て開 年に第十二回オリムピック大

年であるが、ことに最も出版

を要する事は、スポーツを敬

を持ち最も続けてるものは背

想とできかについてお話いた

ハ、川郷曲「市」同六時二〇分(東)コドモの新聞ロ、質園を行く」「曲) 新草茜製作

明) 東京 (原田 寄作・長谷 基季作 明) 東京 (原田 寄作・長谷 基季作 明)

イ、君感傷と言ふ勿れ 外二曲 生寒海林太郎 日本ポッドール電鉱業園

ドコーミり | 治年の敬意とスポーツ 村閥 花子ン・シュト

同九時三〇分(東) 膵報 ニュー

日本ボリドールリズムボーイズ。日本ボリドールリズムボーイズ

同八時五五分(東)カレントトピーツクス

同七時 ニュース・天皇見込・**職** 

同一〇時

党日の香組レコート(後川)

一日の番組

歌脚「サドコ」とり

大阪ラデオオーケストラー 唱 大阪放送合唱座 器 納 慶 子

同九時(大)推顧物語・ひとりし がか一成意文教験質は歴史・

詳細は伊近所のレートクレーム騒賞参加販賣店で御問合せ下さい!

五百萬名様總當リの大懸實募集中

ちぞ御手の方へもお忘れなく!

御出動前の上ゲ剃り後のレートクレームをど

しい貴方の手に近代人の理智と力が溢れてる

レートクレー

ムで揺ばれた、弾力のある岩々

素晴しい大景品揃ひ、

5やら見ざけ地類に立ついておこ。 売を合表 でき方 眼部 三年(現)飲養養華・養験へのになるたりを見ざけ地類に立ついておこ。 売を合表 (東) ハーモニカ溪 同二時(現)飲養養華・養験へのになるたりを見ざけ地類に立ついておこ。 売を合表 田田品植物・鮮 同一時一五分・趣味濃淡 火の活かと、あられもない恐怖で、ぎょ・ 共三方 服部 三音 同四時 ニュース ス、ボレローラヴェル作曲・図ってンドの県 --- リュフュ 他介証を所より中職 俘奏

かと、あられもない恐怖で、ぎょ 曹書方 服郡・至香 同四時・三子かの「既かされてゐる途中ではない」 最末より初替へ(一)年四秋の「『寒時四〇分かの「既かされてゐる途中ではない」 同一〇時三〇分(集)家庭議院 「後のうろ」とでも連れて行かれるのではない。 らの運輸手に、何處か遠い山の中 お話 フェハドコドコ らの運輸手に、何處か遠い山の中 お話 フェハドコドコ ら郊外へ――暮れかくる野路をターの九時一五分、氣象通報(今日の厨所や脊地は調べてある。郊外か 同九時一五分、氣象通報(後田) いた素質があるのではないかと、「ながらの道に就て(二)」というスの本館には、何處が浮始め「同七時三〇分(果)朝の修養、神 らぬ運輸手に、何機か遠い山の中 放送

んかする必要はなくなるのだ。 お父さまたちのあとを辿つて旅行 女中にはたず、ひよつとしたら

さんりしい女が、しとやかに騒を がさした。その様子があいて、 「脂方さまで?」

と、かねてきいてゐた梅本の姉、断けたいと要求してゐる。 中語である 加野町間にい

願い次第である

Ħ

衶权

幸福への道

生命は疑したい、働きたい、 、幸無は似他生活者に神解か 、吹き語は生命の要求に吹き 山貞雄

単紀、子六百年の記念すべき重ね大きなりつくある、殊に の果下べき殺目は戦月と残じ おいて数なに関してスポータ

第三二、小事は、好時機でもあ

する。高さいいでした策とが確 られた此際に、スポーツに動

般の謝心かスポーツに深め

をしてゐます。まだ都上手だとは一 備される事となったので我國 いねといふ事である。古来我 説の種として取り上げわばな 能りや服くる乙女の力神に断ろかみ神の前に

質に於てスポーツに最も関心り、交重要な事情である、動 今夕この點からしてスポーツ は悪心すべき事である。私は るものも見受けられるがこれ 能なる投資家となり終ってる をやる情はスポーツから何を に技術の向上のみに辺頭し、 ーッに構造するものとほに知 惟一のものである。今日スポ ボーツこそは斯道を保全する の旅客を放つてゐる端で、ス 神を避った事は、現在にき 國民か文武兩道を修めて、

男だからとて

身暗みはどうでもよい等と云ふ方は今時一人

帰も力量等も判断出来る等云はれては、男の

もありますまい。手を見れば大低其の人の人

身幡みも軽々しい問題ではなくなります。

カ州亜船震日



年後等時に〇分(大)阿足歌る年後等時に〇分(大)阿足歌る年に就て「一年分(城)講演「今回の列車時刻の敗正に就て 日倭城台頭野總督官短端内より

**同八時(東) 浪花節 御用学次** ・通常・法學博士 田中排太郎 一、 ムッソリーニとりのメッセ

トジを強へて

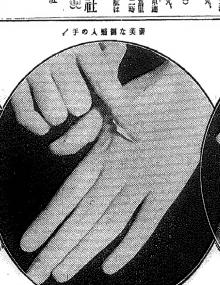
●仙掌行

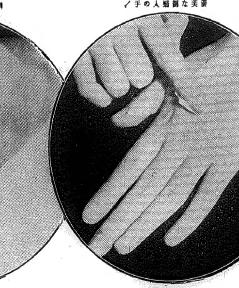
| 唐津行 | 東京 | 市野 **博出往復** 祖出九(為里丸、

■温陽2行 于里克(月八回)
新稚坤=走江河、巴浦
新稚坤=走江河、巴浦
大龙乡、
新祖中||佐中湖、邑乃自勒京連
北京丰洞山、唐建、恒学、富里
北京丰洞山、唐建、恒学、富里
北京丰洞山、西湖、邑乃自勒京連 **製造・物解海洋**社 に川原港町一丁目五番地 思度を潜より「川路航は

九州邮船洙武會社







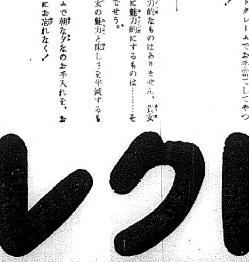
ノ手の性男たしと刺激!

化粧下にと共

レートクレー

し婦人方の

の難容を更ら 美しい手程魅力的なものはありません、貴女 のと思召せ。 手のアレは貴 の美しいお手でせう。 に魅力的にするものは……そ 女の魅力と味しさを半減するも







元礼知らぬ柔肌 をお望みなら

空氣が乾燥いたしますと、お肌も荒れ勝ちとなりま すことが一番良い方法です。 を誇るレートクレームで朝 レにはお困りと存じます、冬でも手のアレない方法 す。とりわけ冷たい水仕事の多い御婦人方は手のア どんなに艶やくしと肌理細から それには乳化の完全なしかも比類のない濃度 なが平人なさいま い方でも、寒くなつて

の稼いとり1よでは肌アレは助けません。(乳化不完全なクリーよはお肌をかへつて 、御花蔵下さいませ)

概本に動って、自分は決して彼と、しく、一時に今までの虚勢が出てか、しないで許ませたいと思って、ハつそりしてゐるだけ陶寺をも溯んだに大した終略もない家田たん 小さな門をくせると、あたりがんだに大した終略

|演|講|

に際して

思らます、既に、嫉嫉との取合はあかといふ歌をお話してみたいと

ての、それら、の場合に如何にす 小學少女として、父職業婦人とし

心のふるさと

配りやときめく乙女の胸上

あら月見取足もとに  入前の娘として、女学生として、それを主婦として、若涙として娘

大阪ラデオオーケストラー 大阪 放 法合唱図 4

おもひあこがれ来た野のはてに

今間も仰ぐこつ星

苦心せわばならん急所があります

飲を工夫するとすれば、いろん

内班大臣

脱、住所や日母の主意、帰頭の仕

せ方、返事としての認め方、喪中

験にうかぶるるさとはなつかしやさし母のおもかげあの山麓の隧が家に オレンヂの花の咲くところ南の間のふるさとは

> 何を花吹く星の花 獨りのぼつた裏山しづか

前りや光るよ乙女の生命神に前ろかみ神の前に

方保存の仕方などに登つて順戦な

いと思ひます

いつも青年あげひばりいつも青年の前のつげくらは、というにはしたか違き山河ののの一様にいつ節るもというには、

一、齊 唱 でいされわが子よと

音ながらの冬の月

神に鳴う女神の明に

あら草紅類足もとに 所りや意味ゆくこれの心 全日本防火デ

からどんなにするめられても振う。子戸につかまつて、

結婚したいとは思ってゐないと云、來る。ひった。

殆どよろめくやらに、安陽の時

て異れるだらる梅本さへその ふとを話せば、あの男はきつと父

ここめん下さい

1810

って我国は各種の英語が記憶に

心を明現せしめて明るい家庭を建

(2) 平版の販る天人の親心が子

併出電作・長G基著作曲 子豚の腹づょみ

新常話劇場

世界に冠なるものだと移せられて **続く、恐らくその損害額に於ては** 

3、人女の手紙

達か寒まつて、暖づしみのお穂古、吹っお月夜の晩、お山の鰯で干狐

祭もかすみのおぼろ月

●瑞山行 常為具有 (監神洋社職廣告)

端里、大湖之、大山 端山丸毎日往復

- 昭和維新の實現は天皇 ! ]

83 0

あるが旅に昨今の非常時局に際

あるから切に國民治君の御陽力を ては、これが保防は最大の急務。

青年の教養

とスポー

ることは、云ふまでもないことで

先書が段運動脱上の大阪時とな

郷は、権太をも含め金日本一體と側にこれを統一し内地は勿論國頭

々に行はれて邪たのであるが、今

火災機関の宣傳は従來各地方區

朝とる

似似の内容は、無政、監制、信

なって行ばれることになったので

が強い

(1) 顔海商船県生の世生と家庭

の家を出るわけではない。

産子は別に独壯な領持ちで父母「こといらで好いわ」

二つの決意。

し、どうせお終ひには父母に発っ、日日暮れて、帰いと思ってたトラって、生活の自信があるはずはな、付からない。そのうち、とつぶり 過ぎない。ひとりで批開に出て行「済地を捜し歩いたが、たかなか見

て家に既るのが落ちだと、自分自・ソクの重みが離に縮く窓じられ始

なるべくなら、そうつと、見付けた。

ちよつと反抗して見たかつたのに「寒い路をあちらこちらと、梶本の

無期な結婚をするめる父たちに、往来に立つた。その邊の住宅街の一「まだ歐つて参りませんが、誰方、龍子は「人徒心して云つた。

と単を厚め、トランクを持つて一でせらか」

梅本さんは、あいつしやいます

すつかり庭れてるますのと

どうしても今夜福本に館はらと

の上に、祖宮の小智と機智を必要 の上に、祖宮の小智と機智を必要 とします、然に生きた都狀、相手 とします。

に異ばれる智狀、異心を罷めた質

00000000000

一遍のものでも、文の上に、 平野状に對する工夫は、歌に形式

が深ましたよ。えつ、どこ

たら、飢く答れせて頂けません?

服部さんは渋家として知られて

服部 嘉香

間時の兒幼

フュハドコ 江上 フジ

**離ると共に、理科的な懸禁話とし** 青濃幅既伊葵のリズム部話として

ても取扱つてみたいと思ってゐま

も大きぎ、冬のお仕度をする事に 切りました。そこでピョンちゃん

いたしました。かうしたお話を、

年賀狀の書方

「まだお殴りでございませんでし

富忠した職だった。

らつしせいますの?それは……」

講家 座庭

つて関づづみのお補古を始めます。など色々な所に冬の来てゐる事を

か見事失敗してしまひます

あら、社長さんのお客さんであ

文流がついたと見えて、

と肝に密も以らしかつたが、す

とが根本である

ら錦ての人が幸祉への道を辿るこ

までいるいませらし

あたし、大塩でございますが

鄒誠和、親野力することであるか 頭取りで敗々巧くなつて行きます あもらこもらと冬を尋ねて参りま

この有様を見てゐたのは子脈たちした。そして高いお空に三日月婚 いよので、ブー太郎君が先生になるる貴や蛙に、お恋のふちの霜住

です。子狸にも出来る事だからと「やお鼠髎に、また土の中に眠つて

御邪鳴に九十貫魂を献時する即ち | 言へませんが、それでも先生の音 | につてらさぎのビヨシもやんは、

いてむたる

身に高をくいつてゐる。

お子さん方の

ご油質でたちま 朝な夕な綺麗に まちアレてしまいます。

恋れなくレートクレームでお手雷でしてやつ ん拭いてお上げたなった後、お

た、可愛いお手々に「ヒビ」「ア

態酸盛りのお子さん方は、お母さまの一寸の

で下さいませく

カギレ」こんな陰めなことは御座のません。 クルくしとした

ぎ防をレ

に肌おの力魅

東京・平尾梵平商店